学校と家庭・地域を結ぶ通信

令和６年２月７日

校報 たいらだて

第　１６　号

八幡平市立平舘小学校
文責：長山　政志

保護者アンケート・経営評価より

保護者の皆様には学びフェストへの取組を通した評価をいただきありがとうございました。学校でも同様の経営評価、子どもたち自身の評価を行い３学期の学校経営に生かしているところです。合わせて来年度の経営に向けた大切な資料とさせていただいております。

大変遅くなりましたが、ここにその結果についてお知らせいたします。記述欄には以下のようなことがありました。

- ✧　幅広くいろんなことに配慮してくださり、よくやっていただいていると思います。
- ✧　火曜日の放課後に学習の取り組みをしてくれるようになったので遅れている分の学習が出来てとてもありがたいと思っています。
- ✧　学校での相撲練習をしていただいて、大変助かりました。地区毎での練習は難しくなっております。今後も学校でお願いしたいです。
- ✧　雨からの運動会、４年ぶりの相撲大会、学習発表会すべてありがとうございました。

温かいお言葉をいただき、職員一同意を新たにして子どもたち一人一人のために、工夫改善しながら本校教育を進めてまいります。

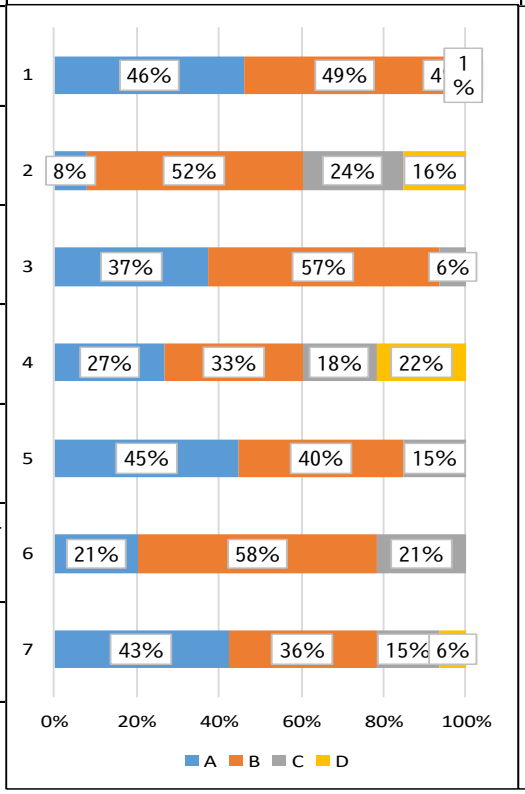
また、こんな子どもに！という思いでは、以下のようなものが多くありました。

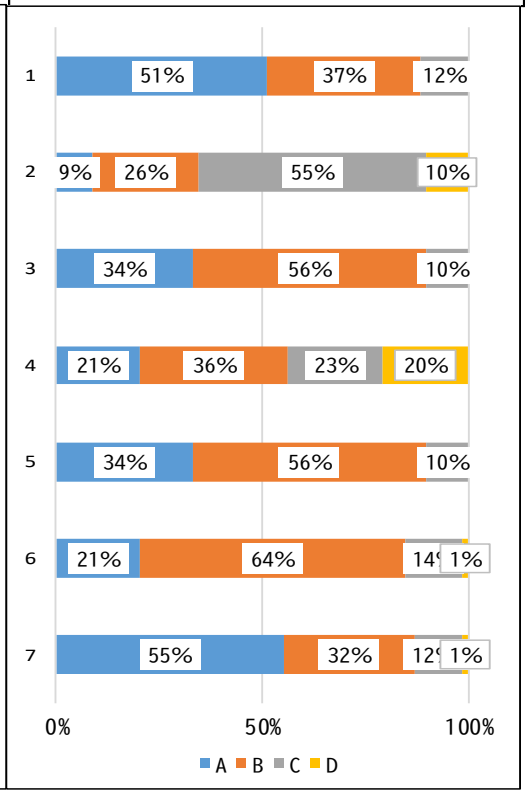
- ➢　人の話にきちんと耳を傾けられる子ども
- ➢　自分の意見も持ち、友達の意見も受け入れられる子
- ➢　やりたいことに挑戦してくれる

上記のような力を育てたいのは、私たち教職員も同じです。来年度の学校経営に生かしていきたいと考えております。

【保護者アンケート結果】

	項目
1	お子さんは、毎日家庭学習に取り組んでいますか。
2	お子さんと一緒に親子読書に取り組みましたか。
3	お子さんは、家庭内や地域であいさつをしていますか。
4	お子さんは、お手伝いを決めて取り組んでいますか。
5	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についていますか。
6	ゲーム・タブレット・テレビの時間を決めていますか。
7	お子さんは、徒歩通学を心がけていますか。





職員の評価は右の通りとなります。結果をもとにした主な協議内容は以下の通りです。

成果として

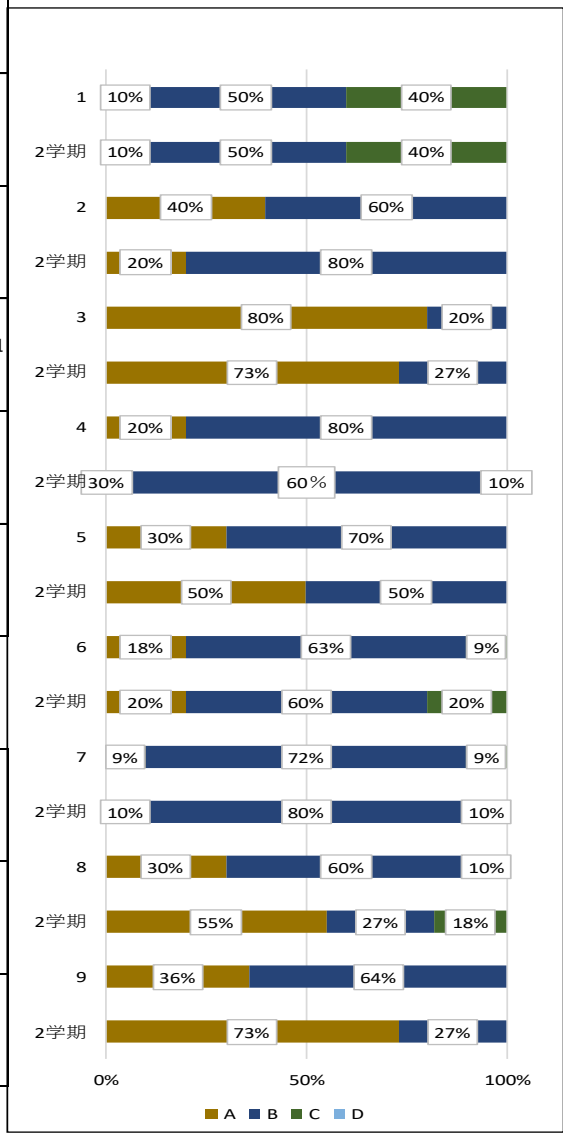
- １学期の改善の視点(授業改善「主体的な学び」)を意識して、日々の教育活動に取り組んできたこと。
  （子どもたちのアンケートより　楽しいこと「授業」「友達と何かをすること」が↑↑）
- CS との連携や外部機関とのかかわりを多く持ちながら学習を工夫して実施できたこと。

課題として

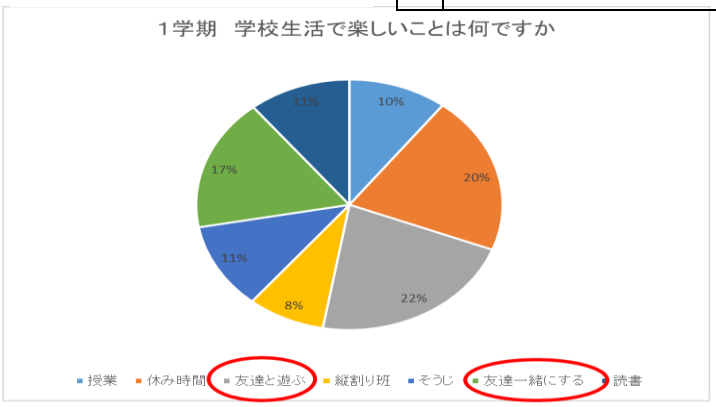
- 対話的な学び、協働的な学びを仕組んだ授業づくりをさらに推進すること。
- 「子ども」を主語にした授業改善をすすめること。
- ICT 機器のさらなる活用を図ること。

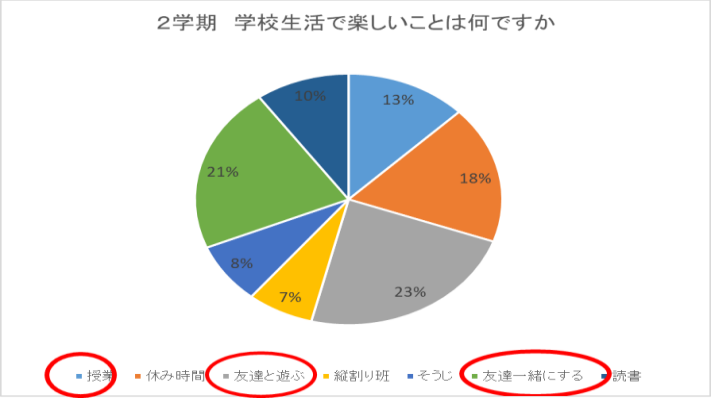
	項目
1	子どもが本に親しむよう環境を整えましたか。
2	タブレットを活用した学習を週に3回以上行いましたか。 A:活用した　B:活用できなかった
3	あいさつが進んでできるよう取り組みましたか。
4	目標をもたせて活動を行いましたか。
5	給食後の歯磨きを徹底しましたか。
6	教育活動に創意工夫して取り組みましたか。 A:カリマネを意識して B:努力した C:あまりできなかった D:できなかった
7	授業力の向上に努めましたか。
8	CSとの連携を図りましたか。
9	PTAとの連携を図りましたか。

【職員評価結果より】



【児童アンケート結果より】





子ども達のアンケートで「学校生活での楽しいこと」についての結果は、左の通りとなります。１学期と比較したときに、変化として以下の点が挙げられます。

- 「友だちと一緒に何かをすること」の割合が高くなっている。
- 「授業」の割合も上がっている。

子ども達は、友達とのかかわりの中での学習や体験に喜びを多く感じていることがわかります。ねらいをもって、縦割り清掃を中心とした異年齢集団による活動を継続してきた成果と考えています。様々な課題はありますが、一人一人のかかわりを大切にするとともに、地域や保護者、他の大人とのかかわり、６年生の函館弥生小学校との交流など「人・環境・事象」から学ぶことを意図的に仕組んでいきたいと考えています。また、より主体的に粘り強く自分の課題に向かっていけるよう、教育活動を進めてまいります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。